

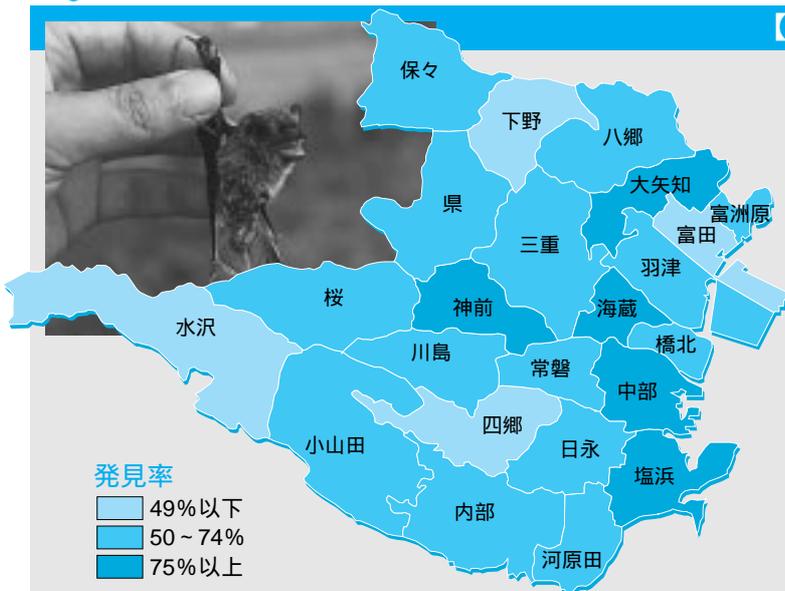
街中にもたくさん生きものたち

特集
身近な自然の調査結果

自分たちが住んでいる地域周辺の自然を、今一度見つめ直してみようと、市が市民のみなさんのご協力を
 いただいていた「身近な自然の調査」の結果がこのほどまとまりました。今回はその一部をご紹介します。

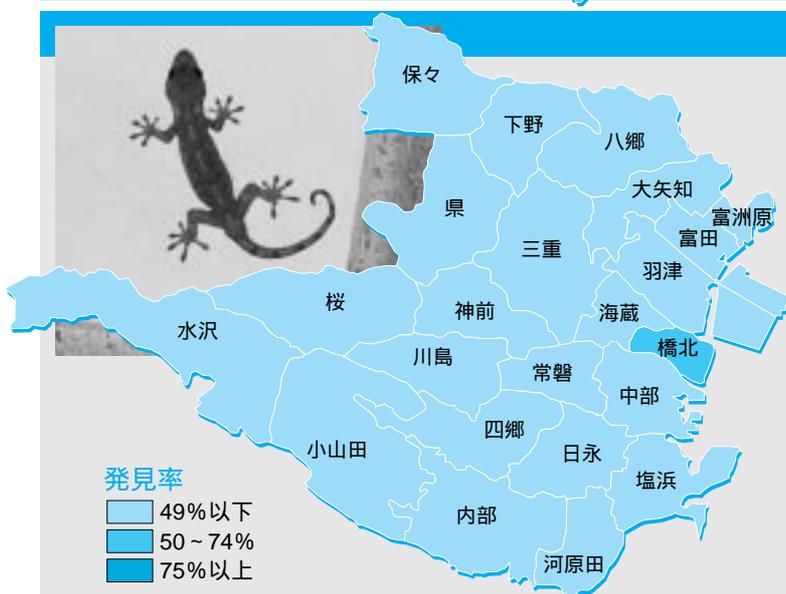
市街地に広く見られる生きものたち

【アブラコウモリ】



家の戸袋や屋根裏などで繁殖し、市街地の増加が見られます。発見した人も多く、発見率は調査参加者の六四％でした。市街地でも、えさになる昆虫がまだまだたくさんいることが分かります。

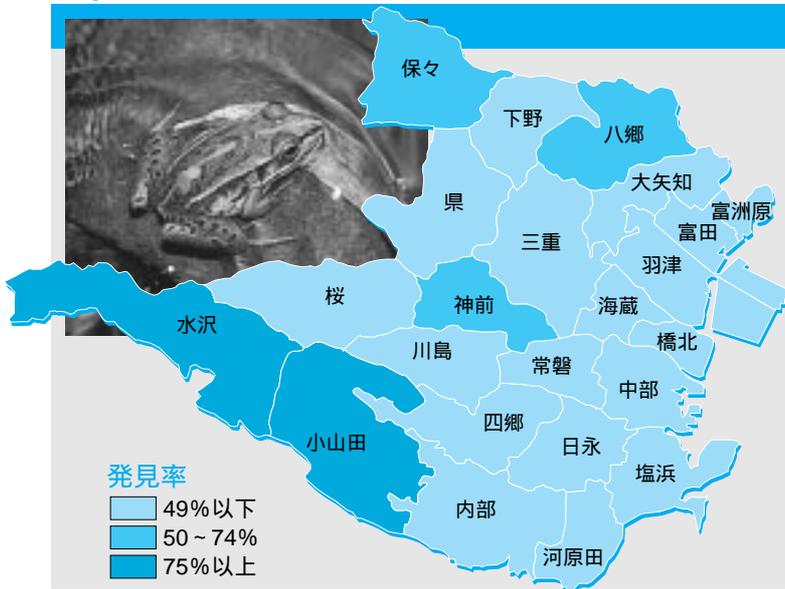
【ヤモリ】



夜行性の生き物で、人家に依存するヤモリは、これまで市街地での発見は数カ所でした。今回の調査では、出現個体数が少ないにもかかわらず、こんなに広く分布していたのかと驚くほどの記録を示しました。特に国道1号沿いの市街地に多く発見されています。

市街地で減っている生きものたち

【トノサマガエル】



丘陵地や水田、水辺のある郊外では、まだ高い発見率を示しましたが、市街地には少なくなってきています。農業の変化や水路の整備などが影響し、姿を消していく傾向を示しています。